

農山漁村地域整備計画実施状況評価調書

計画の名称	栃木県農業生産基盤整備計画(H22)			
計画策定主体	栃木県			
対象市町村	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、河内郡上三川町、芳賀郡益子町、芳賀郡茂木町、芳賀郡市貝町、芳賀郡芳賀町、下都賀郡壬生町、下都賀郡野木町、下都賀郡岩舟町、塩谷郡高根沢町、塩谷郡塩谷町、那須郡那須町、那須郡那珂川町 [26市町]			
計画期間	平成22～26年度(5年間)			
計画の目標	経営感覚に優れた担い手を確保・育成し、強い農業づくりに向けた農業生産基盤の整備を進めることにより、「創意工夫と意欲に富んだ農業の確立」を図るとともに、「農村生活環境を整備することにより、「活力ある美しい農村の創造」を図り、『首都圏農業の新たな展開』を目指す。			
対象事業	農地整備事業(経営体育成型):39地区、農地整備事業(細地帯担い手育成型):1地区、農地整備実施計画策定事業:9地区、水利施設整備事業(基幹水利施設整備型):1地区、水利施設整備事業(基幹水利施設保全体型):12地区、水利施設整備事業(地域農業水利施設保全体型):6地区、地域用水環境整備事業:1地区、農業集落排水事業:7地区、集落基盤整備事業:2地区、中山間地域総合整備事業:4地区、中山間地域総合整備事業(実施計画型):1地区、畜産環境総合整備事業:1地区、草地畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備型):3地区			
関連事業	農地整備事業(細地帯担い手支援型):1地区、農業集落排水事業:1地区、水利施設整備事業(基幹水利施設保全体型):1地区、農地防災事業(農業用河川工作物応急対策事業):2地区、草地畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備型):1地区			
全体事業費 上段:計画 下段:実績	17,748,421千円 (関連事業を含む事業費 18,395,946千円) 16,682,159千円 (関連事業を含む事業費 17,348,011千円)			
計画の概要	《創意工夫と意欲に富んだ農業の確立》			
	定量的指標	目標値	実績値	達成率
	■農業生産の基盤である農地等を整備し、1,270haの優良農地を確保することにより、意欲ある経営体へ300haの農地の利用集積を図る。			
	優良農地の確保面積	1,270ha	1,650ha	129.9%
	農地の利用集積面積	300ha	800ha	267.7%
	■農業用水利施設等の更新整備により、用水の安定供給が可能となることや農地の湛水被害を防止することにより、生産性の高い農地を10,750ha確保する。			
	生産性の高い農地の確保面積	10,750ha	10,750ha	100%
	■畜産農家における飼養管理の省力化・低コスト化を図るため、公共牧場の草地改良整備を実施することにより、乳用牛及び肉用牛合わせて(現況836頭→計画1,190頭)354頭の受け入れ可能頭数の増加及び(現況1,380頭→計画2,411頭)1,031頭の飼養頭数の増加を図る。			
	※「増加頭数」に対する実績頭数により評価を行うこととしているが、福島第一原子力発電所事故後の放牧自粛などにより、公共牧場の放牧頭数が大幅に減少し、「増加頭数」による評価ができないため、「計画頭数」に対する実績頭数による評価とした。			
	乳用牛及び肉用牛の受け入れ頭数	1,190頭	523頭	43.9%
	乳用牛及び肉用牛の飼育頭数	2,411頭	1,470頭	61.0%
	■新たな基盤整備を推進するため、12地区において事業実施計画を策定する。			
	事業実施計画策定地区数	12地区	12地区	100%
《活力ある美しい農村の創造》				
■農業集落排水施設の整備・改築及び機能保全により、7,100戸の快適な農村生活環境の向上・維持を図る。				
農村生活環境の向上戸数	7,100戸	7,230戸	101.8%	
■土地改良施設等の維持管理費の節減及び二酸化炭素の排出削減(年間1,000t)を図る。				
二酸化炭素排出削減量	1,000t/年	1,293t/年	129.3%	

※次期計画の名称・・・「栃木県農業生産基盤整備計画(H27)」

評価	項目	評価細目	評価	説明欄
	交付対象事業の進捗状況	計画した事業を適切に執行できたか。	○	計画した93地区において事業を実施し、平成22～26年度の5年間に対象事業41地区、関連事業6地区の事業が完了した。
	事業効果の発現状況	目標とする事業効果が発現されたか。	○	農地の整備や農地の被害を防止するための対策を実施することで優良農地が確保できた。また、農業集落排水の機能保全により快適な農村生活が維持されている。
	成果目標の目標値の実現状況	定量的指標を達成できたか。	○	概ね目標を達成しており、継続地区は栃木県農業生産基盤整備計画(H27)にて実施していくため、今後目標を達成する見込みである。
今後の方針	栃木県農業振興計画の実現に向けて、農地や農業水利施設などの整備した施設については、適正な維持管理を図るとともに、継続地区においては「栃木県農業生産基盤整備計画(H27)」に位置づけ、事業の早期完了に努める。			